

凡 例

一、本稿は昭和二〇年より昭和三九年までの間に雑誌・紀要等に掲載された万葉集に関する研究文献を収録したものである(但し書評は省く)。

一、記載事項は論題・副題・著者名・掲載誌名(発行者名)・巻号・発行年月・頁数である(一・二、31・1は一卷一
号、31年1月発行の意)。

一、分類は 1 総記・概説、2 語法・訓詁、3 解釈・鑑賞、4 作家、5 地理、6 植物・動物、7 品物・民俗、8 研究史、9 雑とし、各項における配列は年月順、更に同一年月の中は誌名の五十音順とした。

一、収録誌は次の雑誌を中心とし、その他少数の短歌誌及び紀要等を加えた。

解釈と鑑賞、芸林、国学院雑誌、国語・国文、国語と国文学、国文学(学燈社)、国文学叢、上代文学、日本文学、文学、文学・語学、文芸研究、万葉、万葉集研究、美夫君志、論究日本文学

一、本稿はあらゆる手段を尽したがなお未見に終わったものが少なくない。不備な点が多くあることを予めお詫びする。

一、本稿作成に当り終始御指導頂いた成城大学中西進助教授をはじめ、東京大学大学院学生中田敏雄氏、東北大学扇畑忠雄教授、相模女子大学山根巴講師、東京大学国文学研究室、国立国会図書館、国学院大学図書館ならびに同大学桜井満講師、その他雑誌発行所等の皆様いろいろな御世話になった。ここに深く謝意を表する。

古屋 三永子

中山 富子

沢木 まゆみ